

～上空400キロメートルから見た宇宙と地球、「きぼう」船外実験のはなし～ 国際宇宙ステーション／「きぼう」利用成果シンポジウム

■ 開催概要

主 催：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

日 時：平成24年3月22日(木) 18:30～20:30(開場17:45)

場 所：UDXギャラリー Sホール

■ プログラム

18:30-18:45 日本の実験棟「きぼう」とは？ 上垣内 茂樹(JAXA有人宇宙環境利用ミッション本部)

【第1部】(45分)「きぼう」船外利用の成果

18:45-19:30 1) X線で見えるダイナミックな宇宙(MAXI) 上野 史郎(JAXA宇宙科学研究所)
2) 高精度なデータから知る地球大気とオゾン層の今(SMILES) 塩谷 雅人(京都大学教授)
3) 上空400キロメートルの過酷な環境を知る、宇宙の百葉箱(SED) 古賀 清一(JAXA研究開発本部)

19:30-19:40 休 憩

【第2部】(50分)「きぼう」船外利用のこれから

19:40-20:10 パネルディスカッション
主題：『宇宙ステーションから地球・宇宙を視る醍醐味とは？』
モデレータ：竹内 薫(サイエンス作家)
パネリスト：古川 聡(JAXA宇宙飛行士)
上野 史郎(JAXA宇宙科学研究所)
塩谷 雅人(京都大学教授)
古賀 清一(JAXA研究開発本部)

20:10-20:30 会場からの質問対応コーナー

20:30 閉 会

～上空400キロメートルから見た宇宙と地球、「きぼう」船外実験のはなし～ 国際宇宙ステーション／「きぼう」利用成果シンポジウム

登壇者 略 歴



上野 史郎 (うえの しろう) JAXA宇宙科学研究所

■プロフィール

1968年山口県下関市生まれ。京都大学理学部卒業。京都大学理科学研究科博士課程修了。理学博士。専門は宇宙物理とその観測のための宇宙機開発。1997年から1999年までレスター大学研究員。1999年から全天X線監視装置(マキシ)の開発を行い、現在、JAXAのISS科学プロジェクト室マキシチーム所属。

■実験概要

全天エックス線監視装置 (MAXI : Monitor of All-sky X-ray Image)

MAXIは国際宇宙ステーションが地球を1周する90分間にすべての方向の宇宙から来るX線を観測します。X線はブラックホールに吸い込まれるガスや超新星の残骸などから出ています。このX線の観測により、広大な宇宙で起こっている様々な躍動する現象を監視、発見できるのです。



塩谷 雅人 (しおたに まさと) 京大大学生存圏研究所 大気圏環境情報分野 教授

■プロフィール

1958年生まれ。京都大学大学院理学研究科博士後期課程地球物理学専攻修了。理学博士。北海道大学大学院地球環境科学研究科教授、京都大学宙空電波科学センター教授などを経て2004年より現職。研究分野は大気科学。研究テーマは衛星によるグローバルな大気情報の解析、対流圏・成層圏交換過程の解明、熱帯域における大気微量成分の観測など。

■実験概要

JEM搭載超伝導サブミリ波リム放射サウンダ (SMILES: Superconducting Submillimeter-Wave Limb-Emission Sounder)

SMILESは成層圏のオゾンの量や、オゾン層破壊に関連する分子を、これまでにない高い精度で観測することができます。これにより、どのようにしてオゾン層が維持されているのかを調べることができます。この高精度の観測のためにはできるだけ観測機器を冷やす必要がありますが、SMILESは世界最高クラスの宇宙用冷却機(約-270℃)を搭載しています。



古賀 清一 (こが きよかず) JAXA研究開発本部

■プロフィール

1964年生まれ。1989年九州大学理科学研究科物理学専攻(修士)卒業。同年に宇宙開発事業団(現、宇宙航空研究開発機構)入社。

宇宙環境の計測と宇宙環境変動の研究に従事。国際宇宙ステーション「きぼう」船外実験プラットフォーム搭載「宇宙環境計測装置(SEDAP)」の開発取り纏めを勤める。

■実験概要

宇宙環境利用ミッション装置 (SEDAP: Space Environment Data Acquisition equipment-Attached Payload)

SEDAPは国際宇宙ステーションの周りに降り注ぐ、太陽フレアや放射線帯の強い宇宙放射線、中性子、プラズマ、原子状酸素、デブリなど宇宙飛行士の活動に影響を及ぼしたり、宇宙機の運用障害や部品・材料劣化の原因となる宇宙環境を長期に渡って観測します。



古川 聡 (ふるかわ さとし) JAXA宇宙飛行士

1964年、神奈川県横浜市生まれ。東京大学医学部卒業。東京大学医学部付属病院などに勤務したのち、99年宇宙飛行士候補者に選定。

2001年、宇宙飛行士に認定。08年5月、野口聡一宇宙飛行士(国際宇宙ステーション第22次/第23次長期滞在)のバックアップクルーに任命。

11年6月より、国際宇宙ステーション第28次/29次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして国際宇宙ステーションに165日間滞在した。



竹内 薫 (たけうち かおる) サイエンス作家

1960年7月2日東京生まれ。東京大学教養学部教養学科(専攻、科学史・科学哲学)・東京大学理学部物理学科卒業。マギル大学大学院博士課程修了(専攻、高エネルギー物理学理論)。理学博士(Ph.D.)。

大学院を修了後、サイエンスライターとして活動。物理学の解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物を発刊。2006年には「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方」(光文社新書)を出版し、40万部を超えるベストセラーとなる。物理、数学、脳、宇宙、など幅広い科学ジャンルで発信を続け執筆だけでなく、テレビ、ラジオ、講演など精力的に活動している。また大の猫好きでもあり、著作物の中に猫(シュレディンガーの猫)も度々登場する。

- JAXAでは、ISS・きぼうウィークリーニュース(1回/週)、メールマガジン(2回/月)、プレスリリース配信サービス(随時)のメール配信等を行っております。ご希望の方はJAXAホームページ内メールサービス(http://www.jaxa.jp/pr/mail/index_j.html)よりお申し込みください。
- 古川宇宙飛行士のツイッターで最新情報をチェックして頂けます。バーコードリーダーにて右記のQRコードを読み取らせるか、携帯端末に右記URLを入力してください。http://twitter.com/astro_satoshi
- 宇宙飛行士やISS・きぼう等に関わる最新の情報については、宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター(<http://iss.jaxa.jp/>)をご参照ください。

